

学習アウトカム		科目達成レベル (ヒューマン・バイオロジー)
I. 倫理観とプロフェッショナリズム		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 責任をもって医学・医療を実践するために以下の行動ができる。		
2	倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。 1. 生物学における倫理的問題を理解する。	C
3	法的規範を遵守し、行動に責任を持つことができる。 2. ルールを守る。	
4	個人の尊厳を尊重し、心理・社会的要因と多様性を理解し、利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。 3. 共同学習者や教員に対して利他的、共感的、誠実、正直に対応できる。 4. 共同学習者の心理や背景に関心を払い、その立場を尊重する。	F
6	常に自己の心身と社会的状態を評価し、良好な状態（ウェルビーイング）を保つことができる。 5. 自己学習やグループ学習を通して自己の能力を評価し、自分の知識、発言に責任を持つことができる。	C
7	他者に対して指導や支援を求められることができ、自らも指導や支援をすることができる。 6. 共同学習者に対する助言が出来る。	
8	自らのキャリアをデザインし、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる。 7. 自己主導型学習が自己の向上に重要であることを理解し実践することができる。	
II. コミュニケーション		
千葉大学医学部学生は、卒業時に 良好な人間関係を構築し、情報を適切に取り扱い、わかりやすく伝えるために、以下の行動ができる。		
1	個人、文化、社会的背景を踏まえて傾聴し、共感、理解、支持的態度を示し、信頼関係を築くことができる。8. 共同学習者や教員と傾聴、共感、理解、支持的態度を示すコミュニケーションを実践できる。	C
2	他者やそれを取り巻く状況に配慮しながら、適切な方法で、必要な情報収集や情報伝達を行うことができる。 9. 共同学習者や教員と信頼関係を築き、情報収集・伝達、ピア教	
基盤となる態度・価値観を示せることが単位認定の要件である		
基盤となる態度、スキルを示せることが単位認定の要件である		

学習アウトカム		科目達成レベル (ヒューマン・バイオロジー)	
	育を実践できる。		
Ⅲ. 医学および関連領域の知識と応用			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学・医療の基盤となっている以下の基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、応用できる。			
1	人体の構造と機能 10. <ul style="list-style-type: none"> ・人体をつくるもの（生命の化学，細胞の構造と機能，人体の構造と調節） ・人体を維持する仕組み（消化器系と栄養素，血液の組成と機能，心臓血管系，リンパ系および免疫系，呼吸器系，泌尿器系と排泄） ・人体を動かすしくみ（骨格系，筋系） ・人体に広がる情報網（神経系，感覚器，内分泌系） ・人体の発生と加齢（生殖器系） ・ヒトの遺伝学（染色体と遺伝，遺伝子と遺伝医学，DNAと生物工学） 	D	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である
2	発達，成長，加齢，死 11. <ul style="list-style-type: none"> ・人体の発生と加齢（発生・発達と加齢） 		
Ⅵ. 科学的探究			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 常に探究心を持ち、未知・未解決の科学的問題の解決に向けて、以下のことができる。			
1	医学的発見の基礎となる科学的理論と方法論を理解できる。 12. 科学的理論と方法論を理解するために必要な知識を身に付け説明することができる。	E	基盤となる知識を示せることが単位認定の要件である